

さえき福祉フェスタ 2010開催!



バリアフリーをめざして
一だれでも参加できるように

佐伯区民
まつりと
同時開催!

さえき福祉フェスタは、高齢者や障がい者等の体験を通して、多くの佐伯区民に高齢者や障がい者等への理解を深めてもらうことを目的に開催します。是非ご参加ください。



福祉クイズに挑戦

日時 平成22年11月14日(日)
10:00~15:00

場所 佐伯区民文化センター
(駐車場テント及び2階大会議室)

- 内容**
- ★体験コーナー (点字、手話、車椅子、アイマスク体験など)
 - ★クイズ (チャレンジした人には、もれなくお菓子をプレゼント!)
 - ★展示コーナー
(地区社会福祉協議会やボランティアグループの活動紹介及び佐伯区内の作業所紹介など)
 - ★車椅子貸出し (車椅子を用意していますのでお気軽にどうぞ!)
 - ★休憩コーナー (1階テントに休憩場所が設けてあります)



点字体験



車椅子体験



アイマスク体験

＝シリーズ第8回＝ わたしのまちのほっとサロン

現在、ご近所同士で気軽な話など交流の出来る場＝サロンが区内92ヶ所に設けられています。そうしたサロンの紹介レポート第8弾をお送りします。

「お茶の間」気分で気軽に交流

レポート 彩が丘学区社会福祉協議会 会長 難波 和子さん

彩が丘学区社会福祉協議会では、毎月第3金曜日に公民館で彩が丘サロン「お茶の間」を開催しています。

誰でも気軽に立ち寄れる場所で、参加者同士お茶を飲みながらおしゃべりに花を咲かせて自由に交流を図っています。

ある時は、団地内有志の方のご協力で、クイズ・諺、歴史の解説等を楽しんでいます。

また、丹精込めた季節野菜のお漬物を持ち寄ってレシピ情報の交換をしたり、古新聞を利用したごみ袋づくりなど、参加者自身の知恵と工夫も活発です。

他方で、「彩が丘ひよこクラブ」の皆さんと『きらきら母交響楽団コンサート』を開き、クラシックから童謡まで、老いも若きも素晴らしい演奏に聴き惚れ、優雅なひとときを過ごすことも好評です。



車椅子ステーションをご利用ください

広島市佐伯区社会福祉協議会では、怪我などにより緊急に車椅子が必要となった方に、最長6か月間、無料で車椅子の貸し出しを行っています。広島市佐伯区社会福祉協議会（佐伯区役所附属棟）以外にも下記の施設に配備しています。

ご希望の方は、お近くの施設にお問い合わせください。



| | 施設名 | 住所 | 電話 |
|---|-------------|------------|----------|
| 1 | 老人いこいの家 坪井荘 | 坪井一丁目28-11 | 923-7961 |
| 2 | 老人いこいの家 倉重荘 | 観音台二丁目31-1 | 923-7270 |
| 3 | 老人いこいの家 八幡荘 | 八幡三丁目7-24 | 928-0061 |
| 4 | 老人いこいの家 窓山荘 | 五日市町上河内539 | 928-5077 |

やさしさを「発見」プログラム事業

小・中・高等学校や地区社協等において実施される福祉体験学習への講師派遣、調整、企画について、協力を行っています。

1回きりの授業やイベントだけに終わらず、福祉学習をきっかけに自分の「思い」が相手への「思いやり」の行動になればと、相談・調整に応じています。

学校の生徒さんが地域でのつながりを感じるよう、地域活動が子どもたちの学びの場になるように事業を展開しています。お気軽にご相談ください。

例

- 点字体験学習(点字グループによる学習協力・当事者とのふれあい)
- 盲導犬ユーザーの講演会
- アイマスク体験・手引き体験(朗読グループによる学習協力)
- 手話体験学習(手話サークルによる学習協力・当事者とのふれあい)
- 地域の老人施設・障害者支援施設の講義・車椅子実習
- 地域包括支援センターと協力して、認知症サポーター養成講座 など

また、福祉体験機材の貸し出しも行っていきます。お役立てください。

貸出可能機材

- 1.車椅子(自走用・介助用)
- 2.アイマスク 35
- 3.点字板 30
- 4.視覚障害体験めがね(プレート) 3
- 5.高齢者疑似体験教材セット(おもり入りのベスト、ゴーグル) 8



お問い合わせ 広島市佐伯区社会福祉協議会 (082) 921-3113

第11回このひとでインタビュー



今年2月に開かれた「さえき気楽塾～シニアボランティア入門講座～」の修了生が集まって、4月から新しいボランティアグループ「さえきふれ愛グループ」が生まれました。

今回は、さまざまな活動をされている同グループ代表の井藤壮太郎さんにお話を伺いました。

Q1 さえきふれ愛グループはどのような会ですか。

「佐伯区内に在住の、援助等を必要とされる高齢者や障がい者、社会学習の指導を希望する児童・生徒の団体等へのボランティア支援を行うこと」を目的とする会です。具体的には、次の3つの小グループに分かれています。

「さえきふれ愛一座」:施設や学校、地域サロン等を訪問して音楽演奏、健康体操、紙芝居等によるふれあい活動を行う。

「お出かけグループ」:高齢者、障がい者の外出支援を行う。

「お助けグループ」:在宅で生活される高齢者、障がい者のお宅へ訪問し、物の移動や清掃、話し相手等を行う。

Q2 グループの代表になられて半年経ちますが、この間の変化を教えてください。

会則を決め、役員を選び、月1回の定例会を開くというグループとしての形が整い、各小グループの活動が増えました。「ふれ愛一座」では、知的障害者更生施設「自然の村」訪問、楽々園公民館主催の「子ども手話教室」での紙芝居等、「お出かけグループ」では、視覚障がい者の外出ガイド、平和祈念式典での車椅子介助のお手伝い等、「お助けグループ」では、五日市南中学校PTCからの依頼で、そうめん流しと竹細工への協力、車椅子利用者対応のパソコンデスクの製作等、幅広い活動を行っています。

Q3 活動を通して感じられたことを教えてください。

グループの皆さんはそれぞれ素晴らしい特技とやる気を持っておられます。皆さんの力をうまく生かせるよう、社協職員と連携を取りながら、グループを運営していきたいと思っています。

Q4 今後、どのような展開が期待されますか?展望などをお聞かせください。

各グループの活動を通じて、「さえきふれ愛グループ」の存在をPRしていきたいと思っています。また、せっかく3つの活動分野を持っているグループなので、各グループのメンバーは他のグループの行事にも参加するなどして、活動の幅を広げていけたらと望んでいます。

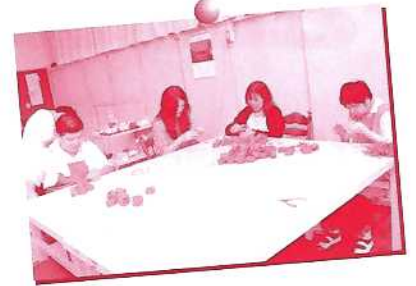
ワークホーム
ぼれぼれが
改名しました

広島作業所 八幡事業所

今年4月、佐伯区八幡が丘にある作業所「ワークホームぼれぼれ」が名称を変更し、「広島作業所 八幡事業所」として新たなスタートを踏み出しました。

八幡が丘団地の緑に囲まれた場所にあり、静かな環境の中に八幡事業所はあります。現在、10名の利用者が登録し、1日のプログラムでは主に自動車部品の加工や缶つぶし等をしています。また、空いた時間は自分の好きなこと（例えば、編み物や絵、音楽鑑賞、パソコンで文字を打つ等）をします。

先日、同事業所に区社協職員がお邪魔し、一緒に作業しながらお話を聞かせていただきました。利用者は気さくに話してくださり、作業もそれぞれ自分のペースでできていました。定員に達した現在も新規利用者を歓迎しており、「利用者が増えたら作業が大変なのでは？」と所長さんに尋ねると、「利用者同士が助け合ってくれます」と言われました。また、最近では元気な利用者につられ、人見知りだった利用者も元気にあいさつをされるようになったと聞き、仲間の力を感じることができました。



お知らせ

八幡事業所では、利用者とはふれあいながら作業をお手伝いして下さるボランティアと送迎をして下さる方を募集しています。

また、リサイクルにも力を入れており、アルミ缶の回収も行っておりますので、ご協力ください。

〈お問合せ・連絡先〉

広島作業所 八幡事業所
広島市佐伯区八幡が丘2-2-1
TEL (082) 929-9488

新しい力を広島から全国に発信!

全国ボランティアフェスティバルひろしま

9月25日(土)、26日(日)に、国際会議場等で全国ボランティアフェスティバルひろしま(テーマ～つながる民力 いかしあう民力～)が開催されました。

これは、全国のボランティアや市民活動に携わる方々が参加され、二日間を通して様々なテーマで学び合い、交流する場です。

ひろしま大会ではテーマに掲げたように、参加された方々が今回得た力をそれぞれの地域から発信し、広がっていくことを目指しました。

当日、ボランティア・市民活動ブースでは、広島県域で展開されている活動の紹介やサロンで作られている小物等を展示し、来られた方と情報交換や交流ができました。サロンの世話人をされている方も多く来られ、自身のサロンの内容へのヒントを持ち帰っておられるようでした。また、ボランティアが折り紙で制作した折鶴やバラの花のお土産もありました。

また、毎年参加されている活動者同士がブースの前で再会され、情報交換をされている状況が見られ、ほほえましかったです。

分科会では、企業や行政、地域の住民といった様々な人がつながりいかしあう力が生まれれば、一人ひとりが暮らしやすい社会ができ、それを自分たちの地域へ広げていただきたいというメッセージを参加者に伝えられたのではないかと思います。



